

## ASEAN設立50周年記念

サンシャワー：東南アジアの現代美術展  
1980年代から現在まで

国立新美術館・森美術館 同時開催 2017年7月5日(水)～10月23日(月)

## 明日開幕。六本木の2大美術館を巡るアート・フェス！

国立新美術館と森美術館、国際交流基金アジアセンターは、2017年7月5日(水)から10月23日(月)まで、「サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」を開催します。ASEAN(東南アジア諸国連合)設立50周年にあたる2017年、東南アジアの現代美術を紹介する、史上最大規模の意欲的な展覧会です。同じ六本木エリアにある国立新美術館、森美術館両館長が発案し、国際交流基金の賛同により実現したもので、3者が総力を挙げ、14名のキュレトリアル・チームによる2年半にわたる現地調査を経てASEAN10カ国より86組のアーティストを選定、計約190点の作品を2館の会場に展示する、初の共同企画展となります。

本展は、時代の潮流と変動を背景とした東南アジアにおける1980年代以降の現代アートの発展を9つの視点から掘り下げ、そのダイナミズムと多様性を紹介します。

サンシャワーとは

「天気雨」を意味するタイトル「サンシャワー」は、晴れていながら雨が降るという気象現象で、熱帯気候の東南アジア地域では頻繁に見られます。第二次世界大戦後の脱植民地主義のもと、冷戦下の戦争、内戦などの困難を経て民主化や国際化を迎え、近年では経済発展や都市開発が急速に進み、大きな変化を遂げている東南アジア地域の紆余曲折を表わす詩的なメタファーでもあります。



リー・ウェン  
《奇妙な果実》  
2003年  
Cプリント  
42 x 59.4 cm

## プレスリリース

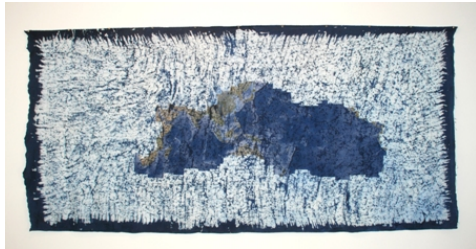
本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## 展覧会の構成と会場：9つのセクション

### ◆ 国立新美術館会場

#### ■ うつろう世界

さまざまな視点で複雑な歴史と社会を映し出す、地図を題材にした作品に焦点を当てます。



イー・イラン 《うつろう世界》(「偉人」シリーズより)  
2010年 ミマキデジタル・インクジェット・プリント、酸性染料、ろうけつ・藍染め、絹  
140.5 × 298cm Courtesy: Silverlens Galleries, Makati, The Philippines

#### ■ 情熱と革命

植民地支配、戦争や抑圧のなかで、民主化や表現の自由を求めたアーティストたち。その活動の軌跡をたどります。



ティン・リン  
《アートの生物学》  
(「00235」シリーズより)  
1999年  
ミクストメディア、綿のシャツ  
53 × 53 cm  
Courtesy: Martin LeSanto-Smith

#### ■ アーカイブ

アーティストたちのさまざまな活動やムーブメントについての記録や資料を展示します。



コウ・グワンハウ 《シュ・ティエシェン—アーカイブから見る作家の100年》  
2014年 南洋理工大学CCAレジデンス・スタジオ(シンガポール)の印刷物、資料現物  
サイズ可変 所蔵:シュ・ティエシェン&シンガポール・アート・アーカイブ・プロジェクト  
撮影: Koh Nguang How

#### ■ さまざまなアイデンティティ

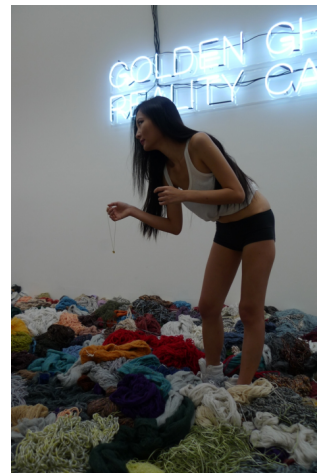
新しい国家の建設、多文化時代の到来によって生じた国家、民族、宗教、ジェンダーなど、アイデンティティの問題を考えます。



ムラティ・スルヨダルモ 《アムネシア》2016年  
パフォーマンスとインスタレーション  
ミシン、綿、チョーク、木 サイズ可変 パフォーマンス: 5時間  
パフォーマンス風景: アーク・ギャラリー、ジョグジャカルタ、インドネシア、2016年

#### ■ 日々の生活

グローバル化が進むなか多様化するアート。日常生活そのものを主題とする新しい表現を紹介します。



スラシー・クソンウォン  
《黄金の亡霊(現実と呼ばれて、私は目覚めた)》  
2014年  
金のネックレス、工業用毛糸、ネオン管、鏡、写真、他 サイズ可変  
パフォーマンス風景: 台北ビエンナーレ、2014年  
©2017 Surasi Kusolwong

### プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階



## ◆ 森美術館会場

### ■ 発展とその影

高度経済成長と急激な開発。その光と影をアーティストたちの眼差しを通して体感してください。



ジョンペット・クスウィダナント 《言葉と動きの可能性》 2013年  
原動機のないモーターバイク、旗 サイズ可変  
所蔵：森美術館、東京

### ■ アートとは何か？ なぜやるのか？

アートを通して地域や社会に何ができるのか？  
さまざまな課題に挑むアーティストたちの試みに迫ります。



アイ・コー/ニュー・ゼロ  
《村の美術学校》  
2015年～

### ■ 瞑想としてのメディア

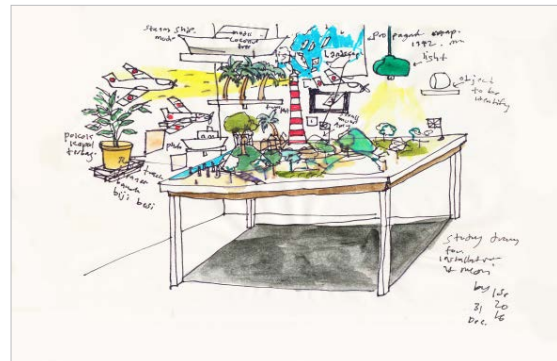
生活に根付く神話や信仰を題材に、伝統工芸などさまざまなメディアを用いて表現するアーティストたちを紹介します。



コラクリット・アルナーノンチャイ  
《おかしな名前の人たちが集まった部屋の中で歴史で絵を描く3》 2015年  
ビデオ 24分55秒  
Courtesy: Carlos/Ishikawa London, CLEARING New York/Brussels,  
BANGKOK CITYCITY GALLERY

### ■ 歴史との対話

新世代のアーティストが、異なる世代との対話を通して  
複雑な歴史を見つめ、未来を考えます。



ロスリシャム・イスマイル (イセ)  
《もうひとつの物語》のためのドローイング  
2017年

## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局（共同PR内）：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## 展覧会のみどころとおすすめポイント

### ASEAN設立50周年。

#### 経済成長のみならず、現代アートシーンもめざましい興隆を見せる東南アジア地域

ASEAN(東南アジア諸国連合)は、1967年の「バンコク宣言」をもって設立され、現在はインドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス(50音順)の東南アジア10カ国で構成されています。10年以上にわたり高い経済成長を維持し、2015年に経済共同体となったASEANですが、現代アートの世界においても活況を呈しており、国際的にも高い注目が集まっています。本展は、東南アジアの現代アートの集大成であり、また最良の入門編ともなるでしょう。

### 学校ではほとんど学べない東南アジアの近年の歴史をアートを通して総括

人口約6億人。多民族、多言語、多宗教の東南アジア地域では、ダイナミックで多様な文化が育まれてきました。この地域の歴史を振り返ると、第二次世界大戦後の脱植民地主義のもと、冷戦下の戦争、内戦などの困難を経て民主化や国際化を迎え、近年では経済発展や都市開発が急速に進み大きな変化を遂げています。本展は、時代の潮流と変動を背景とした東南アジアにおける1980年代以降の現代アートの発展を、9つの視点から掘り下げ紹介します。

### 14名のキュレトリアル・チームによる2年半にわたる現地調査の成果

ASEAN10カ国16都市を、現地若手キュレーターを含む14名のキュレトリアル・チームで2年半にわたり調査を実施しました。アーティストの創作活動の現場、ギャラリーやアート関係者など400件を超える訪問から知り得た情報をもとに、86組のアーティストを選定。キュレーター陣が感じた東南アジアの躍動感、息づかい、リアリティを感じることができます。調査の様子は、こちらからご覧いただけます。(http://seaproject.asia/)

### 六本木エリアの2大美術館をフェス感覚で巡る！

今や東京のアートの一大拠点となった六本木エリア。界隈に点在するギャラリーをのぞきつつ、2会場を巡る、まさにフェス感覚で楽しめる展覧会。料金も2館で1,800円\*と、お得な設定です。また、森美術館は火曜日を除き毎日22時まで開館していることに加え、国立新美術館も金曜・土曜は21時まで開館延長します。時間を気にせずじっくりと作品が鑑賞できます。また、2館共通券の使用は同日中でなくてもOK！会期中の別の日に、ゆっくりともう一つの館を鑑賞することもできます。

※通常単館1,600円程度

### 東南アジアをフィーチャーした関連イベントも実施！

本展開催期間中、東南アジア各国の良作、話題作を紹介する映画上映会や、各国の「今」を面白くわかりやすくお伝えする講演・講座など、多彩な関連イベントを実施します。

※詳細は本リリース10ページをご覧ください。

## プレスリリース

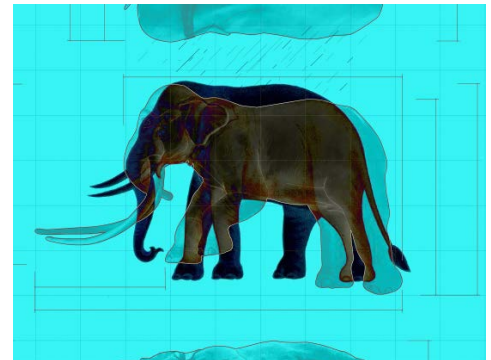
本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## 注目のアーティストと作品

3～4世代にまたがる86組のアーティストは、次世代に多大な影響を与えたモンティエン・ブンマー(タイ)、ロベルト・チャベット(フィリピン)をはじめ、'90年代に国際的に注目されはじめたアジアン・アーティストのスター、リクリット・ティラヴァーニャ(タイ)、ウォン・ホイチョン(マレーシア)、ヘリ・ドノ(インドネシア)たち、さらに、'80～'90年代生まれの若い世代として、すでに世界中からオファーを受けているホー・ルイ・アン(シンガポール)、コラクリット・アルナーノンチャイ(タイ)など、大注目のアーティストが勢揃いです。

### ■ 世界初公開！本展のための新作も多数

タイを代表するアーティストであり映画監督でもあるアピチャッポン・ウィーラセタクンとアーティストのチャイ・シリが本展のために制作した、白象をモチーフにした体長8メートルの巨大モニュメント、《サンシャワー》(2017年)をはじめ、スーザン・ビクター(シンガポール)、ウダム・チャン・グエン(ベトナム)、やアルベルト・ヨナタン(インドネシア)、ズル・モハメド(シンガポール)の作品など、本展のために作成された新作や未発表作品が多数出展します。



アピチャッポン・ウィーラセタクン+チャイ・シリ  
《サンシャワー》のためのドロ잉  
2017年  
Courtesy: Kick the Machine Films

### ■ 来場者の参加により作品が完成する、参加型作品

アングン・ブリアンボド(インドネシア)の作品《必需品の店》(2010/2017年)では、来場者は店に入って、中で売られている雑多なものを実際に買うことができます。スラシー・クソンウォン(タイ)の作品では、5トンのカラフルな糸が床一面に敷き詰められ、そこに金のネックレスが隠されています。来場者はそれを探し、運よく見つけられれば持ち帰ることができます。リクリット・ティラヴァーニャ(タイ)の作品《無題 1996(ランチボックス)》(1996年)では、抽選に当たった来場者は美術館が用意したお弁当を特別な場所で食べることができ、その様子をInstagramにアップします。他の来場者は、展示室に掲出されたハッシュタグを介して、その様子を観ることができます。作品に参加した来場者と他者がInstagramで交流することによって、作品が完成するのです。本展には、このように来場者も作品制作の一部を担える参加型の作品が出展されています。来場者は、ユニークな参加体験を楽しみながら、それぞれの作品に込められたメッセージや問いかけについて考えることになるでしょう。



リクリット・ティラヴァーニャ  
《無題 1996(ランチボックス)》  
1996年

Courtesy: I301PE, Los Angeles and Gallery SIDE 2, Tokyo  
Photo: Fredrik Nilsen

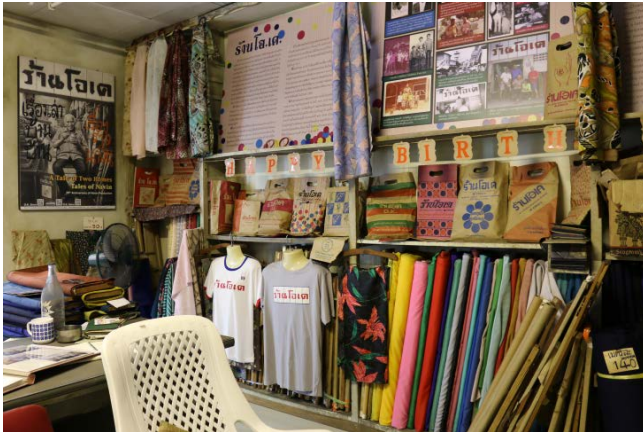
### プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階



## ■ SNS 映えする作品も多数！

大型インスタレーションや参加型作品等、写真撮影可能な作品もたくさんあります。



ナウィン・ラワンチャイクン 《ふたつの家の物語》 2015年  
インスタレーション 387 x 794 x 267 cm  
Courtesy: Navin Production, Chiang Mai, Thailand

作家の父親が、チェンマイのワローロット市場で営んでいる生地店「OKストア」を展示室内に再現したインスタレーション作品。内部には家族や親戚、市場の他の商店経営者など、約50人を描いた絵画が展示される。[NACT]



FX ハルソノ 《声なき声》 1993-94年  
シルクスクリーン、キャンバス、木の椅子、スタンプ  
キャンバス：各143.5 x 95.5 cm 木の椅子：各23 x 38 x 32 cm (9点組)  
所蔵：福岡アジア美術館

9枚のパネルの指文字は、左からDEMOKRASI(インドネシア語で「民主主義」)のアルファベットを示す。パネルの手前には、指文字に対応するアルファベットが刻まれたスタンプが置かれ、鑑賞者は自由に紙に押すことができる。[NACT]



フェリックス・バコロール 《荒れそうな空模様》 2009年  
インスタレーション サイズ可変

1000個を超える風鈴が、風に揺れ音を奏でるインスタレーション。プラスチック製の色鮮やかな装飾は、東南アジアの祝祭性と大量生産に支えられたグローバル経済を表し、揺れ動くことで変化の兆しを予感させるよう。[MAM]



リュウ・クンユウ 《そびえ立つ街》(「私の国への提案」シリーズより) 2009年  
フォトモンタージュ 213 x 575 cm

発展するマレーシアで何が作られ、何が破壊され、何が保存されようとしているのかを見つめることで、国家の在り方を問う圧倒的な密度の大型コラージュ作品。[MAM]

[NACT]…国立新美術館に展示  
[MAM]…森美術館に展示

プレス画像の申請については、下記へお問い合わせください。

『サンシャワー：東南アジアの現代美術展』広報事務局(共同PR内)：三井・谷川

TEL：03-3575-9823 FAX：03-3574-0316 Email：sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp

## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内)：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## ◆ 出展アーティスト

N = 国立新美術館 M = 森美術館

作家名	国名	生年〔-没年〕 〔グループの場合は〕 活動開始年	作品 展示会場	作家名	国名	生年〔-没年〕 〔グループの場合は〕 活動開始年	作品 展示会場
FX ハルソノ	インドネシア	1949年	N	ホー・ツーニエン	シンガポール	1976年	N
ムルヨノとセラム	インドネシア	1957年/ 2006年~	N	ブー・ジュンフェン	シンガポール	1983年	N
アグス・スワゲ	インドネシア	1959年	N M	ホー・ルイ・アン	シンガポール	1990年	N
ヘリ・ドノ	インドネシア	1960年	N	チャルード・ニムサマー	タイ	1929-2015年	N M
メラ・ヤルスマ	インドネシア	1960年	N	モンティエン・ブンマー	タイ	1953-2000年	M
ムラティ・スルヨダルモ	インドネシア	1969年	N	アラヤー・ラートチャムルンスック	タイ	1957年	N
ロラニタ・テオ	インドネシア	1970年	M	ワサン・シッティケート	タイ	1957年	N
ジョンベット・クスウィダナント	インドネシア	1976年	M	ミット・ジャイイン	タイ	1960年	M
アングン・ブリアンボド	インドネシア	1977年	N	ウティット・アティマナと クリッティヤー・カーウィーウォン	タイ	1960年/ 1964年	N
アリアニ・ダルマワン	インドネシア	1977年	N	リクリット・ティラヴァーニャ	タイ	1961年	N
アディティア・ノヴァリ	インドネシア	1978年	M	スラシー・クソンウォン	タイ	1965年	N
アルベルト・ヨナタン	インドネシア	1983年	M	ウドムサク・クリサナミス	タイ	1966年	M
ファジャール・アパディ・RDP	インドネシア	1985年	M	アピチャッポン・ウィーラセタクン +チャイ・シリ	タイ	1970年/ 1983年	M
イスマル・ムンタハ	インドネシア	1987年	M	ナウィン・ラワンチャイクン	タイ	1971年	N M
ルアンルバ	インドネシア	2000年~	M	スティラット・スババリンヤー	タイ	1973年	M
ジャカルタ・ウェイステッド・ アーティスト	インドネシア	2010年~	M	ブラッチャヤ・ピントーン	タイ	1974年	N
スヴァーイ・ケーン	カンボジア	1933-2008年	N	アリン・ルンジャー	タイ	1975年	N
リー・ダラブー	カンボジア	1971年	N	ドゥサディー・ハンタクーン	タイ	1978年	M
ソピアップ・ピッチ	カンボジア	1971年	M	コラクリット・アルナーノンチャイ	タイ	1986年	M
ヴァンディー・ラッタナ	カンボジア	1980年	M	ロベルト・チャベット+ リンゴ・ブノアン	フィリピン	1937-2013年/ 1974年	M
タン・ソック	カンボジア	1984年	M	サンチャゴ・ボセ	フィリピン	1949-2002年	N
リム・ソクチャンリナ	カンボジア	1987年	M	ノルベルト・ロルダン	フィリピン	1953年	N
ティス・カニータ	カンボジア	1987年	M	マヌエル・オカンボ	フィリピン	1965年	N
アマンダ・ヘン	シンガポール	1951年	N	フェリックス・バコロール	フィリピン	1967年	M
リー・ウェン	シンガポール	1957年	N	ライラ・ガルセラノ	フィリピン	1972年	N M
スーザン・ビクター	シンガポール	1959年	N	キリ・ダレナ	フィリピン	1975年	M
コウ・グワンハウ (リム・センゲンとの共同制作)	シンガポール	1963年/ 1981年	N	カワヤン・デ・ギア	フィリピン	1979年	N
ミン・ウォン	シンガポール	1971年	N	マーク・サルヴァトゥス	フィリピン	1980年	M
シャーマン・オン	シンガポール	1971年	N	マルタ・アティエンサ& アートニスラ	フィリピン	1981年/ 2015年~	M
ズル・モハメド	シンガポール	1975年	M				

## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

作家名	国名	生年〔-没年〕 〔グループの場合は 活動開始年〕	作品 展示会場
ヤスミン・ジャイティン	ブルネイ	1987年	N
チャン・ルーン	ベトナム	1960年	M
ディン・Q・レ	ベトナム	1968年	N
ティファニー・チュン	ベトナム	1969年	N
ウダム・チャン・グエン	ベトナム	1971年	N
ホアン・ズオン・カム	ベトナム	1974年	M
トゥアン・アンドリュウ・グエン	ベトナム	1976年	M
バン・ニャット・リン	ベトナム	1983年	M
イスマイル・ハシム	マレーシア	1940-2013年	N
シムリン・ギル	マレーシア	1959年	N
リュウ・クンユウ	マレーシア	1960年	M
ウォン・ホイチョン	マレーシア	1960年	N
イー・イラン	マレーシア	1971年	N
チュア・チョンヨン	マレーシア	1972年	M

作家名	国名	生年〔-没年〕 〔グループの場合は 活動開始年〕	作品 展示会場
ロスリシャム・イスマイル (イセ)	マレーシア	1972年	M
シュシ・スライマン	マレーシア	1973年	N
オウ・ソウイー	マレーシア	1978年	M
ブーティン	マレーシア	1979年	N
バンクロック・スウラップ	マレーシア	2010年～	N
アウン・ミン	ミャンマー	1946年	N
ティン・リン	ミャンマー	1966年	N
ポー・ポー	ミャンマー	1967年	M
マウン・デイ	ミャンマー	1979年	M
アイ・コー/ニュー・ゼロ	ミャンマー	1963年/ 2008年～	M
ミャンマー・アート・リソース センター・アンド・アーカイブ (MARCA)	ミャンマー	2013年～	N
マーイ・チャンダー・ウォン	ラオス	1943年	N
ホンサー・コッスワン	ラオス	1975年	M

## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局（共同PR内）：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階



## 開催概要

**会期**：2017年7月5日(水)～10月23日(月) **会場**：国立新美術館 企画展示室2E、森美術館

**主催**：国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター

**共催**：朝日新聞社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK

**後援**：外務省、インドネシア共和国大使館、カンボジア王国大使館、シンガポール共和国大使館、タイ王国大使館、フィリピン共和国大使館、ブルネイ・ダルサラーム国大使館、ベトナム社会主義共和国大使館、マレーシア大使館、ミャンマー連邦共和国大使館、ラオス人民民主共和国大使館

**協賛**：株式会社大林組、トランスコスモス株式会社、WEARNES、住友商事株式会社

**協力**：全日本空輸株式会社、タイ国際航空、シャンパーニュ ポメリー

**企画**：【国立新美術館】米田尚輝(研究員)、喜田小百合(アソシエイトフェロー)、武笠由以子(研究補佐員)

南 雄介(愛知県美術館館長/国立新美術館前副館長)

【森美術館】片岡真実(チーフ・キュレーター)、徳山拓一(アソシエイト・キュレーター)、熊倉晴子(アシスタント・キュレーター)、荒木夏実(キュレーター)、近藤健一(キュレーター)、椿 玲子(アソシエイト・キュレーター)

【東南アジア インディペンデント・キュレーター】

マーヴ・エスピナ(アーティスト、フィリピン)、オン・ジョリーン(マレーシア)、グレース・サンポー(インドネシア)、ヴェラ・メイ(シンガポール)

**一般問い合わせ**：◎ハローダイヤル 03-5777-8600 ◎展覧会ホームページ sunshower2017.jp

観覧料 (税込)	2館共通		単館	
	当日	当日	当日	団体
一般	1,800円	1,000円		800円
大学生	800円	500円		300円

※高校生及び18歳未満の方(学生証または年齢のわかるものが必要)は無料。

※障がい者手帳をご持参の方(付添の方1名を含む)は無料。

※学生は身分証等をご提示ください。

※団体券は各館で販売(国立新美術館は20名以上、森美術館は15名以上で団体料金を適用)します。

※2館共通券は、券を購入した館では当日限り有効。もう一方の館への入場は会期中有効です。

※サントリー美術館、国立新美術館、森美術館で開催中の展覧会チケット(半券可)を提示された方は、相互割引「あところ割」(200円引)が適用されます。(国立新美術館、森美術館の各単館券のみ有効)

※その他の割引につきましては、各館へお問い合わせください。

※森美術館併設の展望台 東京シティビュー、屋上 スカイデッキ、森アーツセンターギャラリーへの入館は別料金になります。

**巡回**：2017年11月3日(金・祝)～12月25日(月)/福岡アジア美術館

### 【国立新美術館】

**住所**：〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2

**開館時間**：10:00～18:00(毎週金曜日・土曜日は21:00まで)

※「六本木アートナイト2017」開催に伴い、9/30(土)、10/1(日)両日ともに22:00まで

※入場は閉館の30分前まで

**休館日**：毎週火曜日 **美術館ホームページ**：<http://www.nact.jp/>

**アクセス**：東京メトロ千代田線 乃木坂駅 青山霊園方面改札6出口(美術館直結)

都営地下鉄大江戸線 六本木駅7出口 徒歩約4分

東京メトロ日比谷線 六本木駅4a出口 徒歩約5分

※国立新美術館には駐車場はございません。

### 【森美術館】

**住所**：〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階

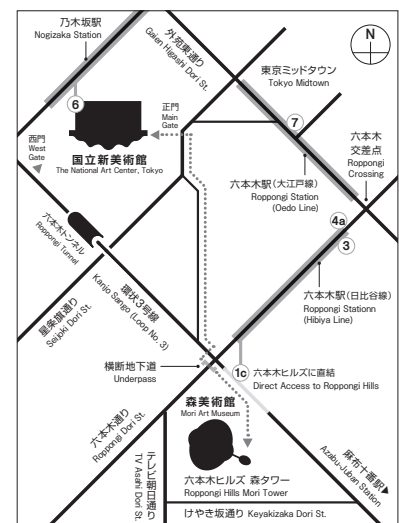
**開館時間**：10:00～22:00(毎週火曜日は17:00まで)

※「六本木アートナイト2017」開催に伴い、9/30(土)は翌朝6:00まで

※入場は閉館時間の30分前まで

**休館日**：会期中無休 **美術館ホームページ**：[www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

**アクセス**：東京メトロ日比谷線 六本木駅 1c出口 徒歩0分(コンコースにて直結) 都営地下鉄大江戸線 六本木駅3出口 徒歩4分



## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内)：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## 展覧会関連プログラム

### ■ シンポジウム「現代美術は東南アジア地域をどのように表象してきたか」 ※日英同時通訳付

「サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」は、ASEAN（東南アジア諸国連合）地域における1980年代末以降の現代美術の発展を、世代や地域を象徴するキーワードとともに検証する展覧会です。

各国の政治的、経済的、社会的状況は異なりますが、第二次世界大戦後の脱植民地主義のもと、民主化や近代化を迎え、近年においては経済発展や投資、都市開発が急速に進むなど、大きな変化を遂げていることは共通しています。

本プログラムでは、「現代美術は東南アジア地域をどのように表象してきたか」をテーマに東南アジアの現代美術をとおして見る世界を再考するとともに、本展にて紹介されるアーティストたちが、社会のさまざまな出来事とどのように対峙しながら作品を制作してきたのか、彼等の様々なバックグラウンドから制作された作品を東南アジアの現代美術の専門家、キュレーター、アーティストたちとともに語り合います。

**出演：**T・K・サバパシ（美術史家）、中尾智路（福岡アジア美術館学芸員）、

ルーベン・キーハン（クイーンズランド・アートギャラリー／ブリスベン近代美術館アジア現代美術キュレーター）、

ジューン・ヤップ（Guggenheim UBS MAP: ノーカントリー ― 南・東南アジアの現代美術展）[グッゲンハイム美術館、2013年]キュレーター）、

デイヴィッド・テ（キュレーター／シンガポール国立大学研究員、東南アジア現代美術専門）、高森信男（関渡美術館キュレーター）、

レオナルド・バルトロメス（ルアンパ・キュレーター／ジャカルタアーツインスティテューション講師）、

エリン・グレッソン（ササバサク・ディレクター）、

シッタールタ・ベレス（シンガポール国立大学美術館アシスタント・キュレーター／プランティングライス共同創始者・キュラトリアルチーム）、

ヤップ・ソー・ビン（マルチメディア大学クリエイティブマルチメディア学部専門員）、小川 希（Art Center Ongoing代表）、

片岡真実（森美術館チーフ・キュレーター）、米田尚輝（国立新美術館研究員）

**日時：**2017年7月8日（土）10:00-17:30（受付開始 9:45）

**会場：**国立新美術館3階講堂 **定員：**250名（要予約） **料金：**無料

**主催：**国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター

**お申し込み：**展覧会ホームページ [sunshower2017.jp](http://sunshower2017.jp)

**お問い合わせ先：**森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101（月～金：11:00-17:00） Fax: 03-6406-9351 E-mail: [mam-learning@mori.co.jp](mailto:mam-learning@mori.co.jp)



T・K・サバパシ



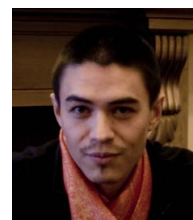
中尾智路



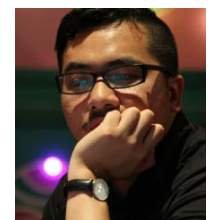
ルーベン・キーハン  
photo: Mark Sherwood



ジューン・ヤップ



デイヴィッド・テ  
photo: Alex Davies



高森信男



レオナルド・バルトロメス



エリン・グレッソン  
photo: Prum Ero



シッタールタ・ベレス



ヤップ・ソー・ビン



小川 希

## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局（共同PR内）：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp)  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## ■ パフォーマンス「ムラティ・スルヨダルモ《アムネシア》」

インドネシアのムラティ・スルヨダルモが、作品の一環として、記憶やアイデンティティをテーマにしたパフォーマンス《アムネシア》を展覧会場にて発表します。

**出演**：ムラティ・スルヨダルモ

**日時**：2017年7月5日(水) 13:00-18:00 **会場**：国立新美術館企画展示室2E

**料金**：無料(ただし、当日有効の国立新美術館の本展覧会チケットが必要です)

**主催**：国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター

**お申し込み**：不要 **お問い合わせ先**：03-5777-8600(ハローダイヤル)

## ■ トークセッション「アーティストが見た東南アジア地域の40年」 ※日英同時通訳付

1980年から現在までの東南アジア地域での現代美術と社会との関係について、本展出展アーティストがアーティストの視点から語ります。

**出演**：ムルヨノ、メラ・ヤルスマ、ソピアップ・ピッチ、スラシー・クソンウォン

**モデレーター**：片岡真実(森美術館チーフ・キュレーター)

**日時**：2017年7月5日(水) 19:00-21:00(開場：18:30)

**会場**：森美術館オーデトリウム **定員**：80名(要予約) **料金**：無料(ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です)

**主催**：国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター **お申し込み**：受付は終了しました

**お問い合わせ先**：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

## ■ アーティスト・リレー・トーク「MY WORK」 ※日英同時通訳付

出展アーティストが自作について語ります。

**日時**：2017年7月9日(日) 13:00-18:00(開場：12:30)

**会場**：森美術館オーデトリウム **定員**：80名(要予約) **料金**：無料(ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です)

**主催**：国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター

**お申し込み**：受付は終了しました

**お問い合わせ先**：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

13:00-14:15 **第1回「時間の贈物：東南アジア地域のアートにおける世代間力学」**

**出演**：ヴァンディー・ラッタナ、ナウィン・ラワンチャイクン、チュア・チョンヨン

**モデレーター**：オン・ジョリー(インディペンデント・キュレーター)

14:30-15:30 **第2回「なぜ、そして何をアーティストたちは共有するのか？」**

**出演**：ムラティ・スルヨダルモ、ミット・ジャイイン

**モデレーター**：グレース・サンポー(インディペンデント・キュレーター)

15:45-16:45 **第3回「心のアーキテクチャー」**

**出演**：アングン・ブリアンボド、シュシ・スライマン

**モデレーター**：ヴェラ・メイ(インディペンデント・キュレーター)

17:00-18:00 **第4回「抑圧された情熱とカニバリズム」**

**出演**：ライラ・ガルセラノ、プーディン

**モデレーター**：マーヴ・エスピナ(アーティスト、インディペンデント・キュレーター)

### プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内)：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階



## ■ アーティストトーク「MY WORK」 ※日英同時通訳付

アピチャップン・ウィーラセタクンとチャイ・シリが、本展出展作品の新作《サンシャワー》(2017年)を中心に、これまでの自作と現在拠点にしているチェンマイ(タイ)について自ら語ります。

**出演:**アピチャップン・ウィーラセタクン+チャイ・シリ **聞き手:**徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)

**日時:**2017年7月10日(月) 19:00-20:30 (開場 18:30)

**会場:**森美術館オーディトリウム **定員:**80名(要予約) **料金:**無料(ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です)

**主催:**森美術館、国立新美術館、国際交流基金アジアセンター **協力:**タイ国際航空

**お申し込み:**受付は終了しました

**お問い合わせ先:**森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

## ■ キッズ・プログラム「いろんな世代の人と一緒にアーティストに出会う」 ※日本語のみ

タイのアーティスト、ドゥサディー・ハンタクーンが自身の作品についてわかりやすく説明し、彼と一緒に子どもたちが制作体験をします。プログラム2日目には、ドゥサディーの子ども頃の思い出のひとつであるタイ料理「パッタイ」を、同時開催のティーンズ・プログラムやシニア・プログラムに参加しているさまざまな世代の人と語り合いながら食します。



ドゥサディー・ハンタクーン  
photo: Naruebas Vadvaree

**1日目** 2017年8月10日(木) 14:00-16:00

**2日目** 2017年8月12日(土) 11:30-14:00 ※ティーンズ、シニア・プログラムと合同で開催します。

**出演:**ドゥサディー・ハンタクーン

**会場:**森美術館、六本木ヒルズ内 **対象:**9-12歳 **定員:**15名程度(お子様だけの参加、要予約、抽選)

**主催:**森美術館 **お申し込み:**展覧会ホームページ sunshower2017.jp

申込期間2017年6月9日(金)~7月12日(水)、抽選結果は2017年7月13日(木)~14日(金)にメールにてご連絡いたします。

※本プログラムは、2日間通しのプログラムにつき、全日程の参加が必須となります。あらかじめご了承ください。お申し込みください。

**お問い合わせ先:**森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

## ■ ティーンズ・プログラム「いろんな世代の人と一緒にアーティストに出会う」 ※日本語のみ

「サンシャワー展」の鑑賞をとおして、参加者自身の身近な出来事と比べながらタイ在住のアーティスト、ドゥサディー・ハンタクーンと一緒に語り合うプログラムです。プログラム最終日には、アーティストの子ども頃の家族の思い出のひとつであるタイ料理「パッタイ」を食し、キッズ、シニア・プログラムの参加者とも交流し、自らの言葉で世代を超えて語り合います。

**1日目** 2017年8月7日(月) 10:30-14:00

**2日目** 2017年8月11日(金・祝) 13:30-16:00 ※一部、シニア・プログラムと合同で開催します。

**3日目** 2017年8月12日(土) 11:30-14:00 ※キッズ、シニア・プログラムと合同で開催します。

**出演:**ドゥサディー・ハンタクーン

**会場:**森美術館、六本木ヒルズ内 **対象:**13-19歳 **定員:**15名程度(要予約、抽選)

**主催:**森美術館 **お申し込み:**展覧会ホームページ sunshower2017.jp

申込期間2017年6月9日(金)~7月12日(水)、抽選結果は2017年7月13日(木)~14日(金)にメールにてご連絡いたします。

※本プログラムは、3日間通しのプログラムにつき、全日程の参加が必須となります。あらかじめご了承ください。お申し込みください。

**お問い合わせ先:**森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## ■ シニア・プログラム「いろんな世代の人と一緒にアーティストに出会う」※日本語のみ

ご自身のこれまでの経験や記憶と比較しながらアーティストの考えを聞き、直接対話します。同時開催のティーンズ・プログラムの参加者と展覧会を一緒に鑑賞し、アーティストと一緒に料理した「パッタイ」を参加者全員で食します。アーティストと一緒に、世代を超えた対話を体験します。

**1日目** 2017年8月11日(金・祝) 13:30-16:00 ※一部、ティーンズ・プログラムと合同で開催します。

**2日目** 2017年8月12日(土) 11:30-14:00 ※キッズ、ティーンズ・プログラムと合同で開催します。

**出演:** ドゥサディー・ハンタクーン

**会場:** 森美術館、六本木ヒルズ内 **対象:** ご自身をシニア世代と認識されている方 **定員:** 15名程度(要予約)

**料金:** 無料(ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です)

**主催:** 森美術館 **お申し込み:** 展覧会ホームページ [sunshower2017.jp](http://sunshower2017.jp)

※本プログラムは、2日間通しのプログラムにつき、全日程の参加が必須となります。あらかじめご了承ください。

**お問い合わせ先:** 森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: [mam-learning@mori.co.jp](mailto:mam-learning@mori.co.jp)

## ■ トークセッション「私の東南アジアを話し尽くす」※日本語のみ

**日時:** 2017年9月16日(土) 14:00-17:30 (開場: 13:30)

### 第1部 14:00-15:30 セッション1「東南アジアで何して来たの? (キュレーター編)」

東南アジア地域で展覧会を企画開催してきた日本人キュレーターたちが集い、それぞれが担当した展覧会背景やコンセプトを振り返り、東南アジア地域の現代美術と日本の現代美術との関係など展覧会企画をとらえて見えたさまざまなことを語り合います。

**出演:** 飯田志保子(インディペンデント・キュレーター/東京藝術大学准教授)、  
服部浩之(インディペンデント・キュレーター/秋田公立美術大学大学院准教授/アートラボあいちディレクター)、  
平野真弓(98B COLLABoratory 展示・教育プログラム・ディレクター)

**モデレーター:** 熊倉晴子(森美術館アシスタント・キュレーター)

### 第2部 16:00-17:30 セッション2「東南アジアで何して来たの? (アーティスト編)」

タイ、フィリピンなどの東南アジア各国で作品制作、展示体験のあるアーティストたちが集い、彼らが現地で得たインスピレーションや面白い体験談などを自由に語り合います。

**出演:** 志賀理江子(アーティスト)、ミヤギフトシ(アーティスト)、和田昌宏(アーティスト)

**モデレーター:** 徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)

**会場:** 森美術館オーデトリウム **定員:** 80名(要予約) **料金:** 無料(ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です)

**主催:** 森美術館 **お申し込み:** 展覧会ホームページ [sunshower2017.jp](http://sunshower2017.jp)

**お問い合わせ先:** 森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: [mam-learning@mori.co.jp](mailto:mam-learning@mori.co.jp)



飯田志保子



服部浩之



平野真弓



志賀理江子



ミヤギフトシ



和田昌宏

## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp)  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

**■キュレーターによるギャラリートーク** ※日本語のみ

本展担当キュレーターが、それぞれの美術館の展示室内でギャラリートーク形式のトークを行います。

**会場**：国立新美術館企画展示室2E、森美術館展示室内

**定員**：各回約20名

**料金**：無料(ただし、それぞれの美術館の当日有効な本展覧会チケットが必要です)

**主催**：国立新美術館、森美術館

**お申し込み**：不要(当日先着順、展示室入口にお集まりください)

**第1回 「ジャングルと瞑想にみる、世界が注目するタイ現代美術」**

**出演**：徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)

**日時**：2017年7月28日(金)19:00-20:00 **会場**：森美術館展示室内

**お問い合わせ先**：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月～金：11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

**第2回 「開発と多文化の狭間でサバイブするインドネシア美術」**

**出演**：熊倉晴子(森美術館アシスタント・キュレーター)

**日時**：2017年8月4日(金)19:00-20:00 **会場**：森美術館展示室内

**お問い合わせ先**：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月～金：11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

**第3回 「東南アジアのアート・アーカイブ」**

**出演**：喜田小百合(国立新美術館アソシエイトフェロー)

**日時**：2017年8月18日(金)14:00-15:00 **会場**：国立新美術館企画展示室2E

**お問い合わせ先**：03-5777-8600(ハローダイヤル)

**第4回 「ポップと精神性」**

**出演**：椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

**日時**：2017年8月30日(水)19:00-20:00 **会場**：森美術館展示室内

**お問い合わせ先**：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月～金：11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

**第5回 「カラフルでシリアスな表現の奥にあるもの」**

**出演**：荒木夏実(森美術館キュレーター)

**日時**：2017年9月2日(土)14:00-15:00 **会場**：森美術館展示室内

**お問い合わせ先**：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月～金：11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

**第6回 「シンガポール美術にみる歴史とアイデンティティ」**

**出演**：武笠由以子(国立新美術館研究補佐員)

**日時**：2017年9月15日(金)14:00-15:00 **会場**：国立新美術館企画展示室2E

**お問い合わせ先**：03-5777-8600(ハローダイヤル)

**プレスリリース**

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内)：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階



**第7回 「東南アジアの歴史と世代を超えた対話」**

出演：片岡真実(森美術館チーフ・キュレーター)

日時：2017年9月20日(水)14:00-15:00 会場：森美術館展示室内

お問い合わせ先：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月～金：11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

**第8回 「植物と食物」**

出演：米田尚輝(国立新美術館研究員)

日時：2017年9月30日(土)14:00-15:00 会場：国立新美術館企画展示室2E

お問い合わせ先：03-5777-8600(ハローダイヤル)

**第9回 「東南アジア、道を巡って」**

出演：近藤健一(森美術館キュレーター)

日時：2017年10月6日(金)19:00-20:00 会場：森美術館展示室内

お問い合わせ先：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月～金：11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

**■ おやこでアート ファミリーアワー** ※日本語のみ

0歳から6歳のお子さまと一緒に、森美術館へ出かけませんか？開館前の美術館を貸し切り、小さなお子さまと安心して鑑賞いただけます。現在妊娠中のプレママもご参加いただけます。ご家族との週末の楽しみに、子どもたちとの交流に、子育ての情報交換に、「サンシャワー展」を楽しみながらそれぞれにお過ごしください。

日時：第1回 2017年8月26日(土) 9:30-10:30 受付は終了しました

第2回 2017年9月16日(土) 9:30-10:30

会場：森美術館展示室内

対象：未就学児(0～6歳)とそのご家族、現在妊娠中の方とご家族

定員：各回80組(要予約)

料金：無料(ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です)

主催：森美術館

お申し込み：展覧会ホームページ [sunshower2017.jp](http://sunshower2017.jp)

お問い合わせ先：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月～金：11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

※ベビーカーや抱っこひもで赤ちゃんと一緒に自由に鑑賞ください。

※9:35/9:55より、美術館スタッフが展示室内でいくつかの作品をご紹介します。参加をご希望の方は展示室入口にお集まりください。

※10:00より一般のお客様も入館します。ご了承ください。

**プレスリリース**

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内)：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## ■「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」※日本語のみ

障がいの有無、見え方、考え方などさまざまな違いを持った人が、7人程度のチームとなって「サンシャワー展」を鑑賞し、作品や空間について「見えていること」「見えていないこと」を言葉にしながらか、お互いに印象や感想、考えを自由に語り合う約2時間のプログラムです。障がいの有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

**日時**：2017年9月9日(土)【第1回】13:00-15:00 【第2回】17:00-19:00

**会場**：国立新美術館企画展示室2E、3階研修室A・B

**対象**：一般 **定員**：各回14名(要予約)

**料金**：無料(ただし、当日有効の国立新美術館の本展覧会チケットが必要です)

※障がい者手帳をご持参の方(付添の方1名を含む)は無料

**主催**：国立新美術館 **協力**：視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

**お申し込み**：E-mail:sunshower-pp@nact.jp

**お申し込み期間**：2017年7月4日(火)-8月30日(水)12:00

**お問い合わせ先**：国立新美術館 教育普及室 Tel:03-6812-9916(月~金:10:00-18:00) E-mail:sunshower-pp@nact.jp

## ■耳でみるアート ※日本語のみ

視覚に障がいがある方を対象とした、スタッフとの対話を通して作品を楽しむツアーです。

本プログラムは見える見えないにかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

**日時**：2017年10月19日(木)10:00-12:00

**会場**：森美術館展示室内

**対象**：一般 **定員**：10名(要予約)

**料金**：無料(ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です)

※障がい者手帳をご持参の方(付添の方1名を含む)は無料

**主催**：森美術館

**お申し込み**：展覧会ホームページ sunshower2017.jp / Tel:03-6406-6101

**お問い合わせ先**：森美術館 ラーニング

Tel:03-6406-6101(月~金:11:00-17:00) Fax:03-6406-9351 E-mail:sunshower-pp@nact.jp

## ■手話ツアー ※日本語のみ

手話と言葉で展覧会を楽しむツアーです。手話をお使いにならない方も気軽にご参加ください。

**日時**：2017年10月19日(木)15:00-16:30

**会場**：森美術館展示室内

**対象**：一般 **定員**：10名(要予約)

**料金**：無料(ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です)

※障がい者手帳をご持参の方(付添の方1名を含む)は無料

**主催**：森美術館

**お申し込み**：展覧会ホームページ sunshower2017.jp / Fax:03-6406-9351

**お問い合わせ先**：森美術館 ラーニング

Tel:03-6406-6101(月~金:11:00-17:00) Fax:03-6406-9351 E-mail:mam-learning@mori.co.jp

## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内):三井・谷川  
Tel:03-3575-9823 Fax:03-3574-0316 E-mail:sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

**■ 学校プログラム「先生のための鑑賞プログラム」** ※日本語のみ

学校の先生と美術館スタッフが「サンシャワー展」の鑑賞ポイントや授業での活用方法について一緒に考えるプログラムです。展覧会の紹介とともに、アートと子どもたちの学びについて先生と美術館スタッフがディスカッションします。社会の今と私たちの姿を鋭く映し出す現代美術に向き合ってみませんか？

**対象：**幼稚園・保育園、小・中・高等学校・特別支援学校、大学、専門学校の教員 ※図工や美術以外の教科の先生も参加可能です。

**定員：**各回30名(要予約) **料金：**無料

**お申し込み：**展覧会ホームページ [sunshower2017.jp](http://sunshower2017.jp)

**主催：**国立新美術館、森美術館

**第1回**

**日時：**2017年7月14日(金)18:00-19:30

**会場：**国立新美術館3階研修室A・B、企画展示室2E

**お申し込み期間：**2017年6月9日(金)～7月10日(月)12:00

**お問い合わせ先：**03-5777-8600(ハローダイヤル)

**第2回**

**日時：**2017年7月21日(金)18:00-19:30

**会場：**森美術館展示室内

**お問い合わせ先：**森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月～金:11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: [mam-learning@mori.co.jp](mailto:mam-learning@mori.co.jp)

**■ とびだす学校ツアー** ※日本語のみ

作品鑑賞を子どもたちや学生たちの学びに取り入れてみませんか？

授業などの一環として展覧会をご覧いただくツアーです。希望日の4週間前までに下記へお問い合わせください。事前に先生とご相談のうえ、日程や内容を決定します。

**対象：**保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校

**人数：**1回50名まで(ギャラリートークの場合)

※それ以上の人数はガイダンスやレクチャー形式などでご相談に応じます。

**料金：**無料(ただし、大学、専門学校生は当日有効の本展覧会チケットが必要です)

※引率者はいずれも無料

**主催：**国立新美術館、森美術館

**お問い合わせ先：**森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月～金:11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: [mam-learning@mori.co.jp](mailto:mam-learning@mori.co.jp)

**お問い合わせ：**

電話、Faxまたはメールにて下記項目をお知らせください。

学校名、学年、人数、ご連絡先

ご希望の来館日時(複数の候補日をお知らせください)

※会場混雑やスケジュール等の事情により、ご希望に沿えない場合もあります。ご了承ください。

※館内には昼食をとる場所はありません。

**プレスリリース**

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp)  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階



## 東南アジアプログラム

### ■ パブリック・レクチャー「寺子屋サンシャワー」 ※日本語のみ

日本と東南アジアを股にかけて活躍する専門家に、歴史やファッション、食など8つのテーマから東南アジアの〈今〉を語ってもらうレクチャーシリーズです。「展覧会をきっかけに東南アジアについてもっと知りたくなった」という人はもちろん、生粋の東南アジア好きや、各テーマに関心のある人それぞれが、楽しみながら気軽に受講できます。

※レクチャー内容については展覧会ホームページにて告知します。

**会場**：国立新美術館3階研修室A・B **定員**：各回80名(要予約)

**料金**：無料(ただし、国立新美術館の本展覧会チケット[半券可]が必要です)

**主催**：国際交流基金アジアセンター、国立新美術館

**お申し込み**：展覧会ホームページ [sunshower2017.jp](http://sunshower2017.jp) **お問い合わせ先**：03-5777-8600(ハローダイヤル)

#### 第1回 歴史・文化・政治 | 「東南アジア」を俯瞰する

講師：岩崎育夫(拓殖大学国際学部教授)、小川 忠(跡見学園女子大学文学部教授)

日時：2017年7月22日(土) 14:00-16:30 (開場：13:30)

#### 第2回 食 | たべれば見えるボーダレス東南アジア

講師：アジアごはんズ(ごはん比較探Qユニット 浅野曜子、伊能すみ子、下関崇子、高島系子、古川 音)

日時：2017年7月29日(土) 14:00-17:00 (開場：13:30)

#### 第3回 ジェンダー・LGBTQ | 映像を通して語る東南アジアのジェンダー・LGBTQ

講師：松下由美(映画プレゼンター、キュレーター、プロデューサー)

日時：2017年8月19日(土) 14:00-16:30 (開場：13:30)

#### 第4回 若者 | 東南アジアの若者は今 — 島しょ部を中心に

講師：野中 葉(慶應義塾大学総合政策学部専任講師)

日時：2017年9月1日(金) 18:30-20:30 (開場：18:00)

#### 第5回 建築 | 東南アジアの近現代建築

講師：岩元真明(建築家、九州大学大学院芸術工学研究院助教、ICADA共同代表)

日時：2017年9月8日(金) 18:30-20:30 (開場：18:00)

#### 第6回 ファッション | 東南アジアのファッション最前線

講師：信田阿芸子(日本ファッション・ウィーク推進機構 国際ディレクター)

横堀良男(国際アジアファッションビジネスコンサルタント、サイド代表取締役)

日時：2017年9月22日(金) 18:30-20:30 (開場：18:00)

#### 第7回 宗教 | 岐路に立つ東南アジアのイスラーム

講師：小川 忠(跡見学園女子大学文学部教授)

日時：2017年10月6日(金) 18:30-20:30 (開場：18:00)

#### 第8回 都市 | 屋台・市場から読み解く東南アジアの都市

講師：中村 航(建築家、Mosaic Design代表、明治大学IAUD教育補助講師)

日時：2017年10月20日(金) 18:30-20:30 (開場：18:00)

※出演者は予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

## プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内)：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp)  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## ■ スクリーニング「FUN! FUN! ASIAN CINEMA @サンシャワー」 ※日本語字幕付

東南アジア各国には豊かな独自の映画文化が存在します。それぞれの国が抱える文化や社会状況が反映された映画一本一本からは、その国の人々が何を見、聞き、食べ、どのように人を愛するかがビビッドに伝わってきます。4日間、ドキュメンタリーからアクション、青春、恋愛映画まで、東南アジア各国の昔と今が見える作品をピックアップし、特集上映します。

**日時：**2017年8月10日(木)-13日(日) ※上映作品および上映時間については展覧会ホームページをご覧ください。

**会場：**国立新美術館3階講堂

**定員：**260名(予約不要、先着順) **料金：**無料(ただし、国立新美術館の本展覧会チケット[半券可]が必要です)

**主催：**国際交流基金アジアセンター、国立新美術館

**お問い合わせ先：**03-5777-8600(ハローダイヤル)

### 関連情報

#### ■ 音声ガイド

本展の9つのセクション及び抜粋した作品を解説する音声ガイドを、国立新美術館、森美術館ともご用意しています。作品鑑賞のお供に、是非ご利用ください。

**言語：**日本語/英語/中国語/韓国語 **解説件数：**各館とも12件 **解説時間：**各館とも約15分 **料金：**無料

#### ■ 展覧会カタログ

[執筆者]片岡真実、米田尚輝 **サイズ：**A4変型(28.2×21 cm) **ページ数：**320頁(予定)

**言語：**日英バイリンガル **価格：**3,888円(税込) **発売日：**2017年8月(予定)

**制作・発行：**平凡社/国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター

#### ■ 展覧会オリジナルグッズ

本展だけのオリジナルグッズができました。ASEAN10カ国の国旗から着想を得た鮮やかなデザインは、東南アジアの生命力あふれるエネルギーを思わせます。各国の国名を組み合わせたロゴや、10カ国の国花をあしらったグッズも。是非お求めください。



カラーTシャツ  
(ブラウン、ホワイト)  
各3,240円(税込)



タイポグラフィートシャツ  
(レッド、ホワイト)  
各3,024円(税込)



トートバッグ  
2,376円(税込)



マスキングテープ  
(3種類)  
各432円(税込)

#### プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## ■ コラボ企画：「サンシャワー展」スペシャルメニュー

グランド ハイアット 東京(六本木)では、「サンシャワー展」の開催を記念して、東南アジア各地のお料理をお楽しみいただけるコラボレーションメニューを、3つのレストランにて展開します。

### 〈けやき坂 4階 鉄板焼〉

国産車海老のガーリックシュリンプ(2,800円)やタイのトムヤムクンをアレンジしたスープライス(1,600円)、国産赤鶏の蒸し焼き 鉄板ビーンズサラダ(1,350円)など。

**提供期間**：2017年7月5日(水)-10月23日(月) ランチ 11:30-14:30(土・日・祝 -15:00) ディナー 18:00-21:30

**直通電話**：03-4333-8782

### 〈チャイナルーム 6階 中国料理〉

東南アジア各地のメニューからインスピレーションを受けたディナーコース(12,000円)と、野菜とシーフードをトムヤムクンスープとコラーゲンスープの2種類のスープでいただく太極火鍋(10,000円)。

**提供期間**：2017年7月5日(水)-8月31日(木) ディナー 18:00-21:30

**直通電話**：03-4333-8785

※9月1日～10月23日はメニュー内容を変更して引き続きご案内いたします。



「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」コラボレーション  
ディナーコース 12,000円(チャイナルーム)

### 〈オークドア 6階 ステーキハウス〉

ベトナムの国民食“パインミー”をモチーフに、ナンプラーやコリアンダーをつかった本格的な味が楽しめるハンバーガー(2,200円)。

**提供期間**：2017年8月1日(火)-31日(木) ランチ 11:30-14:30(土・日・祝 -15:00)

**直通電話**：03-4333-8784

※表示価格はすべて税・サービス料別です。

## ■ 「六本木アートナイト2017」に本展出展アーティストが参加!

今年も開催が決定した一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト2017」。

本展会期中に開催される今回は「東南アジアプロジェクト」ほか、六本木の街中に東南アジアのアーティストの作品が登場。本展出展アーティストのリム・ソクチャンリナ(カンボジア)、ファジャール・アバディ・RDP(インドネシア)、ナウィン・ラワンチャイクン(タイ)が参加します。こちらもあわせてご期待ください。

**日時**：9月30日(土)10:00-10月1日(日)18:00

※「六本木アートナイト2017」の開催に合わせ、本展も以下の通り開館延長します。

【国立新美術館】9月30日(土)、10月1日(日)両日とも22:00まで

【森美術館】9月30日(土)は翌朝6:00まで

### プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内)：三井・谷川  
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階